



化が進展する時代にあつて、社会を生き抜く力を育み、子どもたちの可能性を広げる取組が求められています。

学校教育につきましては、新しい時代にふさわしい質の高い教育の実現に向け、ICT支援員の配置による授業支援や教職員向けの活用研修等を深化し、従来型の教育とICT教育とのベストミックスを図ってまいります。

また、夏の酷暑などに対しても、学びの機会をしっかりと確保できる環境整備を行うとともに、医療的ケアを必要とする児童の受入体制を継続してまいります。

併せて、子どもたちの学びの場、生活の場である学校の安全を確保するため、白鷹中学校の体育館床等改修や空調設備の整備に取り組むほか、グラウンド排水対策の設計業務にも着手してまいります。

そのほか、おいしく安全安心な学校給食の提供に向け、地元食材の積極的な活用に努めながら、味や品質を確保してまいります。

## 地域の担い手の育成

人口減少等により、地域を取り巻く環境は大きく

変化しております。

各産業分野における担い手不足に

対応するため、まちの仕事を組み合わせたマルチワークを提供することで移住希望者の受け皿となる地域人材ベースキャンプが令和6年度から事業を開始することに合わせ、その運営を支援してまいります。

また、町施策とも連動させつつ、将来的な担い手、人材の確保に寄与する取組を進めてまいります。

荒砥高等学校支援関連は、生徒数の確保を最重要課題として捉え、小規模校の特色を生かした生徒一人一人の学力に応じたきめ細かな学習指導や基礎学力の向上への取組のほか、新たに自動車免許取得費用に対する支援を行います。

生涯学習、芸術文化面では、引き続き、町民自らが企画し実施する自発的な生涯学習活動への支援を行うほか、町誕生から70年の歩みを探索する事業にも取り組んでまいります。スポーツの推進につきましては、若鮎マラソン大会をはじめとした各種イベントを70周年の記念大会として準備を進めてまいります。

また、町民武道館へ空調設備を新設するほか、町営スキー場の運営やスポーツ施設の維持管理等について、町スポーツ協会を核とした運営体制を確立し、機動的で効果的な運営を図ってまいります。

## 施策の柱 「産業・経済」

農業の振興  
コメの消費減少が進む中、安定した農家所得の

確保に向け、計画的なブロックローテーションの取組なども含め、コメ以外の作物への転換を関係機関と連携し進めてまいります。

併せて、農地の将来像となる地域計画や目標地図の策定を進め、農地の集積・集約による作業の効率化と農地利用の最適化を図るとともに、日本型直接支払交付金事業の取組を通し、集落機能および農村環境の維持・向上と、農村地域の振興につなげてまいります。

また、農業従事者が減少する中、移住等による多様な担い手の確保や、近年希望者が増加しつつある雇用就農への支援を継続するほか、本町の農産物や資源を活用した魅力ある6次産業化の振興に向けて引き続き取組を進めてまいります。

さらに、農業生産基盤の整備や農業用施設の保全管理については、県や関係団体との連携を密にし、生産における効率化および省力化への支援や、施設の機能回復、災害の未然防止などの安全確保に向けて取り組んでまいります。



# 令和6年度 施政方針と予算

## — 令和6年度施政方針から —

### 2つの重点施策

#### ① 行政のデジタル化

デジタル技術の活用により、町民の皆さまの利便性向上を図るとともに、業務を効率化することで住民サービスの更なる充実を図るため、引き続き、行政のデジタル化を推進してまいります。

令和6年度におきましては、住民票の写し等のコンビニ交付の実施や、地図情報の公開、行政情報配信システムの運用開始などにより住民サービスの向上を図ります。

併せて、議会における質疑等の深

**令** 和6年度は、計画期間が最終年度となる第6次総合計画の前期基本計画の将来像の実現に向け、それぞれの特色ある地域資源を生かし、相互補完し連携するコンパクト・プラス・ネットワークによるまちづくりの考え方を基本としてまいります。また、SDGsの視点を踏まえつつ、人材確保、DX推進、脱炭素化の実現の視点をもって、重点4分野である「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」を施策の柱として着実に進め、暮らし・社会・経済が統合する持続可能なまちづくりを目指してまいります。

特に、多様な人材確保に向けて新たな人の流れを形成する取組や、子育ておよび若者世帯の希望を叶える環境の整備や支援、魅力的な地域づくりへの支援など、人口減少対策を総合的に講じ、未来につながる暮らしを大切にするため、職場や住環境に加えて、子育て環境も含めた近接化を目指す本町版「職住育近接」の実現に向けた取組を進めることで、定住人口を確保し、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

※SDGs…「(Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標」のこと。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標がある。

#### ② コンパクト・プラス・ネットワーク

第6次総合計画では、白鷹大橋の完成に象徴される一体化・中央拠点化による都市軸と、各地域拠点を同心円状に捉えることで、それぞれの地域資源を生かし、相互補完し連携するまちづくりをコンパクト・プラス・ネットワークと位置付けております。

人口減少社会において、今後、ますます重要な役割を担う町立病院お

### 施策の柱「人づくり」

#### 子育てしやすい環境づくり

出生数の減少が続く状況ではありますが、子育て

て世代の方々が仕事と子育てを両立でき、安心して出産、子育てができる環境整備として「こども家庭センター」を設置し、相談支援体制のさらなる強化を図ってまいります。

また、出生祝金を5万円から10万円へ増額することに加え、新たに妊娠確定までの産婦人科受診費用等の助成を行うなど、「伴走型相談支援」と「経済的支援」の一体的サービスの充実を図ります。

このほか、全世代の保育料無償化をはじめとした子育て支援策を総合的に推進しながら、少子化対策に取り組んでまいります。

#### 教育の充実

デジタル化やグローバル化といった社会的変